

# Mutugara 4



おひげ / 一期 / 全

令和五年春号



# 施設長 お疲れ様でした！

令和五年三月三十一日をもちまして、  
二名の職員が退職されました。

長年むつごろう会のためにご尽力された  
お二人を紹介します。

一人目は花堂施設長です



施設長は長年、県職員として福祉業務に携わり、退職後は、むつごろう会の理事長として就任し、精神障害者授産施設「ワークステーションむつごろう」施設長を経て、精神障害者社会復帰施設「オープンハウスむつごろう」（現グループホーム）の施設長兼むつごろう会理事長として長きにわたり、利用者様、職員のために、ご尽力いただきました。利用者様に「ここに来てよかった」、「自然の中で穏やかな日々を過ごしてほしい」との熱い思いで、環境整備にも自ら先頭に立ち、私たち職員にも指導してくださいました。「オープンハウスむつごろう」の施設長としては退任されますが、令和五年六月の理事長任期まで、これまでと変わらず支えていただけるとに職員一同感謝いたします。

## 「施設長からのお願い」

皆様、二つお願いがあります。ここは田舎で車も少ないこともあり、出来れば、体力作りをして頂きたいと思えます。昔はよく、むつごろうコースなど歩いている利用者さんを見かけましたが、最近はジューズを買いに行く利用者さんを見るぐらいで、あまり見かけません。ぜひ体力作りをよろしくお願ひします。あともう一つはどんな小さな事でもいいので夢や希望を持ち続けて下さい。その方が、ずっと「人生」楽しくなると思います。

施設長 花堂兵郎

## 「施設長へ贈る言葉」

どうもお疲れ様でした。今後とも、もしよかったら、よろしくお願ひいたします。

A・Yさん

本当はもっと施設長をして、むつごろうにおいてもらいたかったです。今後も元気で過ごしてください。

S・Hさん

長い間、大変お疲れ様でした。今まで、施設長の「ここに来てよかった」と思える施設作りの姿勢や志に刺激を受け、環境整備（草刈り）など、陰から支えてくださる背中にも励まされてきました。私個人としては週三回の食材買い出しを手伝って頂き、忙しい中にも楽しさがあり、職務へのやる気を頂きました。これからは、違う角度でむつごろう会を見守り、支えて頂けると思いますが、お体には十分に気をつけて頂きたいと思ひます。また、週三回の食材買い出しはお手伝い頂けるので今後ともよろしくお願ひいたします。

中尾 佳



ワークステーションむつごろう開設当初

# 菅原さん お疲れ様でした!

二人目は菅原友子さんです

菅原友子さんは、オープンハウスむつごろうが精神障害者社会復帰施設の時から、これまでのむつごろう会の多くの事業に携わり、時には厳しく、時には優しく利用者様に寄りそった支援を、二十三年間してくださいました。今後も新たなステージで、ご活躍されることを祈っております。



## 「退職を迎えて」

この春をもって退職となります。二十三年間で四事業所の仕事を経験できたことは本当によかったと思っています。わたしより若い人達の感性の中で一緒に働かせてもらったことは宝になりました。今まで本当にありがとうございました。

菅原 友子

## 「菅原さんへ贈る言葉」

（はなればなれになる前に、もう少しだけ素直になれば、もっといっぱいのお礼があると思うも、ごめんねも言えたのに）コブクロの歌詞から。  
S・Hさん

いなくなって寂しいですね。

K・Kさん

長い間、大変お疲れ様でした。菅原さんからは、本当に様々なことを学ばせて頂きました。利用者の皆様との接し方や、サポートする姿勢だけではなく、授産活動への取り組み方や工夫は驚きに溢れていて、「なるほど」と、思わせてくれることばかりでした。また、菅原さんの優しさにも触れることが多くあり、「大丈夫?」、「これを〇〇すると良いわよ」など、アドバイスや励ましの言葉をたくさん頂きました。パワフルな菅原さんなので、これからのいろいろなことに挑戦されると思いますが、お体だけはお気を付けてください。本当にありがとうございました。

中尾 佳



## ～ 出会い 新しい仲間たち ～ スタッフ紹介

四月からお世話になりました。四月からお世話になりました。田中絵美です。以前は介護の仕事に就いていました。この仕事は初めてなので早く覚えるよう頑張りたいと思います。よろしくお願います。



たします。



今年度より生活訓練の正職員として、働かせて頂くことになりました。池田明美と申します。十年以上前から非常勤でお世話になっておりましたが、これからも初心を忘れず頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



栄田町グループホーム4号棟の世話人の田中萬知子です。仕事は朝食や夕食作り、掃除など。夕方は、皆さんの体調を聞いて、健康管理簿の記入などしています。どうぞ、よろしくお願いたします。







# 春の思い出

## 「新たな生活の始まり」

三十年以上前の話です。高校卒業時、車の免許を取りに行ってきました。自宅から、入社する仕事場までの四十分の道のりを、通勤するのに必要だったからです。仮免で落ちたりして、入社式の一日前にとと取れましたが、研修から帰ってきて、翌日から通勤は、ほぼ、ぶっつけ本番だったので、慣れるまで、本当に大変だった記憶があります。

B・Yさん

## 「四年目の春・・・」

最初の春・・・  
ついつい自分の病気になる  
一年目の春・・・  
訓練もコロナに・・・  
二年目の春・・・  
ワークへの体験 経験す  
三年目の春・・・  
作業の内容 少しずつ理解できん  
四年目の春・・・  
自分の存在 確かめん・・・



O・Hさん

## 「初めての自立生活」

中学を卒業した後、長崎市内の高校に通うようになり、自宅を離れ、下宿生活となった。食事以外は全て自分で。楽しくもあり、大変だった記憶・・・今はいい思い出。

U・Tさん

## 「お花見 あるある?」

子供の頃、お花見に行ったら、酔っ払いに追っかけられて、怖い思いをした!

N・Rさん

## 「パチンコ」

高校受験の時に、本当は大村高校に行きたかったのですが、美術の先生に大村工業に行けと言われて。最初に長崎日大を受験して受かって、大村工業の電気科にも受かり大村工業に行きました。高校卒業後は東京のNECの関連会社に入社しました。その内にパチンコにハマって作った借金が二千万円にもなり、お金もなくなって会社の寮も追い出され、上京して九年後に長崎に戻ってきました。長崎の工場で働いて、その内に兵庫にある三菱電気の工場でも働きました。精神の病気は三十五歳ぐらいから。その時は新聞配達をやっていた、十年勤めました。職場は、ほとんど男ばかりで女の人も付き合いましたが、結婚はしていません。唯一、楽しかったなという思い出は、今はもう出来ませんが、パチンコをすることが楽しかったです。

むつごろうの利用者 男性

## 「昔の話」

私は中学を卒業してすぐ、十代で大阪に行きました。六十年ぐらい前の話です。南大阪の和泉府中にある紡績会社で働きながら、夜は定時制高校に通いました。定時制高校では最初二十四人いましたが、途中で辞めた人が多く、卒業したのは十一人で私も無事卒業できました。しばらくして長崎に戻り、結婚して瑞穂の長崎ワコールに勤めました。長男を出産するまでだから、六年ぐらい働きました。仕事内容は、主に下着の縫製などです。ですから、ミシンなども使えますが、今は何もしたくありません。

むつごろうの利用者 女性

## 4コマ劇場

「弁当」 作者・Nさん



## 生活介護

### ワークステーションむつごろうII



生活介護のメニューの一つにドライブがあります。この日は、小浜の足湯へ。天気も良く、足元から、ポカポカと体全体あったまりました！さて、次はどこに行こう。

## お花見

今年も久原公園の河津桜を見に行ってきました。とても生き生きと桜が咲いて、元気をたくさん頂きました。季節を感じるひととき。来年もまた見に行きましょう。

## 園芸

やまびこ館で、2月から育てていたエンドウ豆を収穫しました。思ったよりもたくさん取れたのでよかったです。さて、次は何の種を育てましょうか？利用者さんと一緒に決めたいと思います。



## Yさんのダジャレクイズ

- 一. 一生懸命 ダジャレを考えている時に、魚のさしみと板ぎれを持ってきた人がいました。それで考えつきました！どんなダジャレでしょう？
- 二. 誘拐犯がお風呂に入ろうと、奥さんにお風呂の用意を頼みました。風呂おけの中は、なみなみとたまっていました。そこで誘拐犯が奥さんにたずねました。何とたずねたでしょう？
- 三. 五木ひろしさんが疲れしました。疲れ果てて一言いいました。何と言ったでしょう？
- 四. 豆が大好きな人がいました。でも食べるたびに残ってしまう豆があるのですが、その豆の名前は何でしょうか？
- 五. ある所に、おさむ君という男の子がいました。冬になると名前を言います。さて何というでしょう？
- 六. アリがはき物をはいていました。そこにワニが通りかかりました。さて、何というワニでしょう？

答えは最後のページ、「福祉コラム」の下にあります。





# 生活訓練 ワークステーションむつごろうII



模様は、ひもやゴムで結んで作りだします

## 藍染

藍染とは

藍液で糸や布を染める技法。

藍液で浸した糸や布を液から引き上げた際、大気中の酸素と反応して、初めは緑色、やがて紺色に発色します。

生活訓練では、夏に向けて自分たちが着る藍染Tシャツを制作中です。皆さん楽しみにされています！

## 生け花

春といえば、お花で

す。日本の伝統の生け花をさせて頂きました。お花を生けるだけでも一人一人、個性があり、おもしろいです。そして家にお花があると華やかになり、心も落ち着きます。この忙しいご時世ですが、皆様の家にはお花は飾られていますでしょうか？春の彩りを添えて、この季節を楽しみましょう。



## 陶芸

春になり生活訓練では、陶芸で動物や自然をモチーフにした作品を作りました。皆さん、感性豊かでユニークな作品が、たくさんできました！





# 就労継続B型 ワークステーション むつごろう I

愛媛分の積み込み作業は去年と違い、フォークリフトを使用したので、体的にも楽になり、効率も上がったのでお昼前には積み込み完了。  
第一便目に続き、第二便目が五月にあり、それまでに残りのどっしり君製造にも力が入る所です。



愛媛から諫早まで、どっしり君を取りに来ていただきました。ありがとうございました。



## 作業風景

西海と愛媛の一回目の納品を無事終わりました。これから気温も上がってくるので、体調管理をしっかりし、残りの配達も頑張りたいと思います。

就労B型どっしり君  
担当西山

今回は、どっしりくんの作業風景を  
クローズアップ。

次回は、炭と食材作業をお送りします。





グループホーム  
オープンハウス むつごろう



避難訓練



グループホームでは、年度末に各棟自主的に、避難訓練を実施しました。普段から気をつけている

ことですが、緊急時にパニックを起こさないように「備えは大事」。利用者の皆さんも真剣に取り組んでくださいました。まだまだ、乾燥が続く季節、火の取り扱いには十分気をつけて、安全な生活の確保に取り組みたいと思います。

グループホームの日常



オープンハウスむつごろう（本野町グループホーム）の散歩コースの道路沿いに、タケノコがニョキ！うさん一生懸命、掘っています。掘ったタケノコは、訪問看護の方へのお土産となりました。



運動不足解消のため、「バドミントン」で体を動かします！久々のバドミントんに、羽根が屋根に乗ったり、ラリーが続かなかつたりと、四苦八苦。いい汗流しました！



# 中山さんの俳句



ロータリー 眼鏡ふきふき 待ち時間  
 目覚ましの 五時の時間で 早起きだ  
 マイペット 水に入れては お掃除だ  
 黒ばらの 椿油を 髪につけ  
 おやつ買い 友と語らう お昼時  
 ひと冬も せんべい布団 寒かった  
 わりばしも 大切にして 使おうよ  
 春来たり 桜の花も 雨に散り  
 一杯の コーヒー美味し 朝早く  
 シクラメン もうすぐ開花 咲く頃だ  
 アイス買い 体温冷えて 心地良し  
 夜食べる ラーメンの音 静かめに  
 汚したら さっと洗おう お洗濯  
 のんびりと いい湯つかりて 気持ちよく  
 真夜中の タバコ一本 スリルあり  
 こどもの日 ちまき作って たべようか  
 夜食べる そばのうまさは 格別だ  
 残り物 福があります 大切に  
 メモ用紙 カットカットで たまります

## 春のイラスト集

「花と蝶」



作：N・J さん

## 推しの本と音楽

「やあ、  
 すてきななかまたち！」



ブラウン作/オーティス写真

読んでいて、純粋な気持ちになる、気持ちが安らぐ、不思議な本です。

「たわむれ」



作：Y・M さん

「音方」



1969年のベルベッツのライブ。ロバートクワインがテープに録音した音源で音悪いですが、昔から聴いている素晴らしい音源です。

SisterRay/Foggy NotionThe VelvetUnderground

## 「エコな めしがユニー」



Hさんは空いた時間を利用して、新聞紙や広告用紙で、ゴミ箱を作ってくれます。毎日少しずつ。今では、定期的に職員のお知り合いの方に提供して利用していただいています。みかんの皮やお菓子のゴミ入れ、ゴミ箱の中敷きにしたり・・・使い方は色々。「むつごろう会」以外でもお役にたっています。





# 福祉コラム



イラスト：Tazoesun

「見返りを求めてもいい」

社会福祉法人・むつごろう会

理事 田添 政継

私は、ちょうど還暦の年齢であったが、四国遍路を経験した。それまでの六十年の人生で経験したことのないことがいくつもあった。そして生き方を変えた。その一つを紹介する。まずは障がい者に対する考え方である。三十番前後の札所で何度目かの「お接待」を受けた時に、一度聞いてみたいと思ったことを思い切って聞いてみた。つまり「一期一会、二度と会うことがない、お遍路に、なぜお接待をするのですか？」と。その方は「自分もお

情で行けないので私に変わって参拜してきてください」とおっしゃってジュースを「お接待」くださった。この時のことがヒントで気づかされたことがあった。それはボランティア精神に結びつくことであるが、「ボランティアは支援する側は見返りを求めない」とされるが、僕は支援される立場として、例えば障害のある人は一定の確率で生まれる。つまり、誰かが必ず障がいを持って生まれてくるという事だ。精神に障がいのある人は五%前後。つまり、百人生まれれば必ず五人は障がい者として生まれる。例えば私が障がいなく生まれたことは偶然である。つまり、五人の人が障がいをもって生まれたことで僕は障がい者にならずにすんだとも考えられる。だとすれば障がいをもって生まれた人に感謝するのは当たり前。その見返りとしてボランティアをする。つまりボランティアをしてあげるのではなく、障がい者に感謝して、その見返りとしてボランティアをする。「してやる」から「させてもらう」に百八十度、ボランティアとして考えが変わった瞬間だった。

「むつごろう会」は多くの方に支えていただいております。

～ 普段お世話になっている方をご紹介します ～



三彩の里

QRコード

## 三 彩 の 里

今回ご紹介させて頂くのは、大村にある「社会福祉法人三彩の里」です。いつも、むつごろうの粘土で作った作品を持っていき、素焼き、本焼きまで三彩の里さんにお願いで焼いて頂いております。主に陶芸をやられていて陶芸教室では粘土を手で形成する「てびねり体験」や、皿、カップに絵を描く「絵付け体験」もできます。むつごろうでは、陶芸体験はできますが、手びねり体験などはできません。波佐見まで行かずとも陶芸ができます。とても楽しいので、ぜひ一度体験されてみてはいかがでしょうか？



## Yさんのクイズの回答

- 一. 魚がヒラメだっただけに、ひらめいたでしょう
- 二. この風呂おけの中は水？それともかい？
- 三. 五木ひろーした
- 四. えんどう豆（エンド豆）
- 五. おーさむい
- 六. ゲタをはいていたのでアリゲーター

次回をお楽しみ！





市街グループ  
ホーム

日の出3号棟：諫早市日の出町9-6 TEL：0957-21-1551  
栄田4号棟：諫早市栄田町41-22 TEL：0957-26-1590  
城見A棟：諫早市城見町45-40 TEL：0957-21-6570  
東本町B棟：諫早市東本町6-9 TEL：0957-22-2023

- 共同生活事業所オープンハウスむつごろう 諫早市本野町642-6  
TEL：0957-25-9222 FAX：0957-25-9223 共同生活援助・介護サービス包括型（定員32名）
- ワークステーションむつごろうⅠ 諫早市本野町1650-8  
TEL：0957-20-6560 FAX：0957-20-6561 就労継続B型（定員20名）
- 多機能型ワークステーションむつごろうⅡ 諫早市本野町1650-8  
TEL：0957-20-6560 FAX：0957-20-6561 生活訓練（定員6名）生活介護（定員14名）

むつごろうプレス  
発行日 2023年5月12日  
発行所 社会福祉法人  
むつごろう会  
〒854-0093  
長崎県諫早市本野町1650-8  
編集・校正・フォトグラフ  
丸尾 史人  
前田 由紀子  
花堂 達之助

# 入所/通所 利用者募集

～苦情、情報開示の受付について～

社会福祉法人むつごろう会では、施設が行う福祉サービスに対して、利用者をはじめ、ご家族や一般の皆さんからの不安や疑問を解消して頂く為に、『苦情解決、情報開示』の体制を設置しています。なお、詳しいことにつきましては、下記の担当者に直接、お気軽におたずね下さい。

## 苦情受付情報開示担当者

- オープンハウスむつごろう 管理者 重松 直哉 Tel：0957-25-9222
- ワークステーションⅠ就労支援B型 管理者 石丸 佳奈子 Tel：0957-20-6560
- ワークステーションⅡ多機能型  
（生活訓練・生活介護） 管理者 花堂 達之助 Tel：0957-20-6560

## 苦情解決情報開示責任者

むつごろう会 理事長 花堂 兵郎

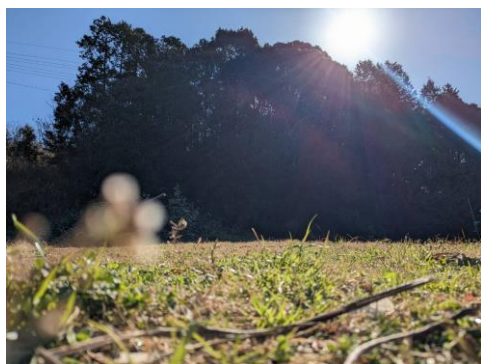


Photo:maruo

編集部より

今回は、「むつごろう会」初の定年退職者を迎え、とても感慨深く、年月を振り返りながら、職員、利用者ともに、多くの「想い」が詰まったものに仕上がりました。人情厚い花堂施設長や菅原さんの人柄が垣間見えるエピソードもあり、印象深いものになりました。また、「むつごろう会」では別れだけではなく、「新しい出会いもあり、4月より新体制を迎えています。今後も魅力ある日々の出来事を、発信していきたいと思っています。

## 編集後記



# Learning NATURE

長い間、ありがとうございます！  
これからもよろしくお願いします！



お疲れ様  
でした！



## 花堂施設長と僕

花堂施設長には大変お世話になりました。父が亡くなった時、父のお葬式に、諫早の山奥から、長崎市まで来てくれたこともありました。僕がオープンハウス2号棟にいた時、「悪いようにしないから、市内のグループホームに移らないか」と言ってくれました。それから、十年以上の月日が流れ、今では「市内のグループホームに移ってよかった」と思っています。「生活訓練」の期間を終えて、就労継続B型の「ワークステーションむつごろう」に移りました。そこではよく昼上がりをしていました。僕の趣味の「囲碁」をしたかったからです。施設長は、僕の気持ちを察して、迎えにきては、碁会所の近くまで送ってくれました。行事があった時は、昼食の弁当空を二人で整理して、ゴミ袋に入れたり…。施設長もとても喜んでくれました。最初、むつごろうに来た時、みんながいる公園まで送ってくれました。僕は施設長を利用者と思っていたので、「利用者のくせに車を運転するとは、何事か!」と思いましたが。その後、施設長が将棋しような!」と言ったので「ああ、いいよ」と、言いました。すると、他の職員さんから、この人は「施設長で理事長でもあるんだよ」と、言われてビックリして声が出ませんでした。それから施設長は、みんなが嫌がる仕事を自分からしてくれました。「車での送迎」、「草むしり」、「弁当の配達」、誰でもできる仕事です。そういう施設長を職員さんや利用者は見ているので、みんながついてきたのだらうと思います。「施設長」や「施設長の奥さん」の手柄が、施設がここまで大きくなった理由だと僕は思いました。